

入場無料

パラフリー かあちゃん!!

監督 石丸みどり

上映会! in春日井

申込不要



●2024年2月4日(日)

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

▶13時30分受付開始 ▶14時00分上映

▶14時50分トークイベント(石丸監督他)

▶16時00分終了

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44

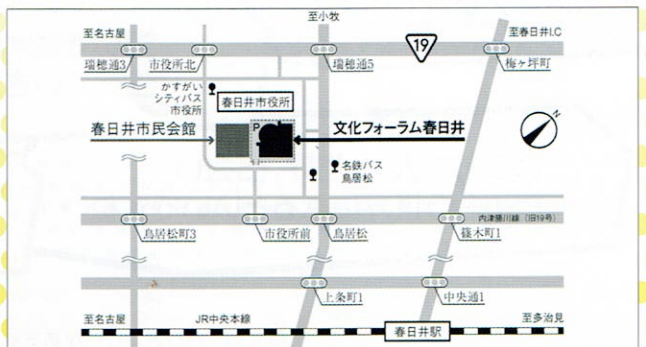
JR中央線「春日井駅」北口より

・名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分・北へ徒歩約20分

かすがいシティバスでお越しの方 ・「市役所」下車すぐ

※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関または乗り合わせでご来場ください。

●お問い合わせは bfmamfam@gmail.com まで



さまざまな「差別」に思いを馳せ、性別や、国籍、障がいの有無、年齢、LGBTQなどの違いを認め合い、差別のない、住みやすい町にしようと頑張った東浦町のみなさんの行動に敬意を評します。

まだまだ、この国には「差別」というものがたくさんあります。差別をなくしたいという、みなさんの素直な気持ちを大切に、これからも東浦町の発展と人類の幸せのために町の人々がひとつになって活動を続けてくださる事を願っています。

愛知県初トランスジェンダー議員の春日井市議 小嶋小百合さん

[あらすじ]

世の中のバリアを取っ払うため、今日も町を駆け回る朝子(人呼んで「パラフリーかあちゃん!」)。アイドルのコンサートで、買物に困っている外国人の通訳で、仕事で悩んでいる障がい者のために。

でも、そんなかあちゃんにも、自分のバリアを超えなければならぬ時が。

はたして、かあちゃんはバリアを超えられるのか?



予告編はこちら↑から



■主催:「パラフリーかあちゃん」上映有志の会

■協力:春日井虹色さぼてん

入場無料

バリアフリーがあちゃん!!

監督 石丸みどり

上映会! in春日井 申込不要



どんな場面でも積極的に
対応していく姿に心打たれました

発達障害も
個性として認めるべきと思いました。

時代を先取りした「共生」が
見事に描かれていると思います

偏見をぶっ飛ばす勇気をもらいました

特にシングルマザーについて
考えさせられました

親の愛情の深さに涙が

この映画を観て、
東浦町に住んでみたいになりました

心のバリアは、気付かない所で
いろいろあります

相手の立場に立って対応することの
大切さを知りました

まさかのエンディングに
びっくりしました

おもしろかったり、泣きそうになったり

いろいろなバリアを乗り越える、 パワフル「かあちゃん」がやって来る!

バリアフリーについて
考えさせられました

みんな違って、みんな良い
がよく伝わりました

心のバリアをなくしたいと
思いました

優しさと思いやりに溢れている

暖かい気持ちになれました

性同一性障害について
的確に捉えられていた

身近な話題で
いろいろな事を考えさせられました

違いを認め合って
生きていきたいと思いました

自分自身LGBT的な体質なので
勇気をいただきました

いろんな人々、世界、出会い
認め合う世界になるといいですね

とても親しみやすい暖かい作品

参加者の皆様へのお願い

みなさんが楽しいひと時を過ごしていただくため、次のことをお願いします。

1. 映画上映中

- ・スマホの電源はオフにしてください。
- ・おしゃべりや撮影は控えてください。
- ・飲食はペットボトルの飲料以外はお控えください。

2. トークイベント中

- ・登壇者のトーク中に会場から声を上げることはお控えください。
- ・参加者の発言時間はおひとり5分以内をお願いします。4分30秒になりましたらベルで合図をさせていただきます。
- ・参加者のご発言は、スタッフがマイクを持って行ってから始めてください。
- ・主催者や登壇者を非難する発言はご遠慮ください。一緒に考えるきっかけになるような発言をお願いします。
- ・大声や会場を乱すようなことがある場合は退場をしてもらうことがありますので、ご注意ください。

3. 災害などの緊急時には司会者と会館担当者の指示に従ってください。

お知らせ

1. DVD の頒布を受付で行っています。いただいたお金は能登地震の救援金として日赤に寄付をさせていただきます。慈善頒布のため、販売価格の半値以下になっています。ご協力のほど、よろしくをお願いします。

「バリアフリーかあちゃん」は非売品ですが、上記の目的のため寄付金としていただき、DVDには映画のパンフレットをつけさせていただきます。

*ご協力のほど、よろしくをお願いします！

2. 参加者名簿とアンケートの用紙は受付で回収させていただきます。また、ペンシルが不要な方は回収箱にお入れください。

*回収箱への投函をお忘れなく！

「バリアフリーかあちゃん」上映会トークイベント
登壇者紹介(50音順)



石丸みどり

「ものがたりラボ」と子どもたちの創造性を育てる「ドラマキッズ」を主宰し、教育者としても専門学校、大学で32年間教鞭をとっている。

シングルマザー、発達障がい児の子育て経験などの体験を経て、ココロが動けば、ヒトが動き、マチが動くをモットーに、ココロが動く地域のものがたり創りをしており、「バリアフリーかあちゃん」をはじめ、岩倉市、西尾市などで市民映画の制作に携わっている。障がい者への関心も高く名古屋市長健康福祉局障害企画課広報評価委員も務めている。

鹿取愛里

LGBT 当事者として、岡崎市にて愛知県初の条例による、パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入のアドバイザーとして協力し、誰もがストレスを感じない社会を目指す 在職 トランスジェンダー

(注)在職トランスジェンダー:トランスジェンダーとして会社に入社するのではなく、同じ会社いながら性別の取り扱いを変更するという意味。トランスジェンダー もしくは トランスをしようと思ってる方にとっては、意味合いの深い言葉。

酒井英夫

わっぱの会・なごや障害者就業生活支援センター・センター長/愛知県就労促進協会代表理事を務める。

(メッセージ)障害者との関わり 50年・障害者雇用 20年。障害者雇用を通して共生社会を目指してきています。今後は働きづらさ生きづらさを抱えた人へ、幅広くアプローチをして、共に働き共に暮らせる社会づくりを目指します

山本廣枝

社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会理事長兼愛知母子・父子福祉センター長を務める。もと愛知県教育委員会所属学校栄養職員でもある。

(メッセージ)ひとり親家庭支援に関わり 23年、73年続く団体の役割として、孤立しがちなひとり親家庭の親子に寄り添い、頼る人、頼る場所を増やすべくアウトリーチな活動を展開。子どもに担税力を養う活動にも邁進中。

(司会)

木幡洋子

愛知県立大学名誉教授(憲法・教育法)。退職後 NPO 法人学校図書館総合研究所を立ち上げ所長を務める。また、愛知県疫学研究所研究倫理審査委員、愛知県立総合看護専門学校研究倫理審査委員、名古屋市社会福祉協議会権利擁護事業審査委員長などの人権保障のための公務に携わっている。自身が被爆二世、母子家庭、女性研究者として差別の苦しさを経験しているため、人権保障を生涯の仕事としている。



石丸みどり 監督 映画作品

ココロを動かすストーリーデザインをコンセプトに、地域デザインを目的とした市民映画のプロジェクト計画から映画・映像制作、地域ブランディングデザイン、映像やデザインを使った人材育成、障がい者の社会的認知を広めるための制作活動を行っています。

◇主な実績

2010年・恵那市岩村町町おこしドラマ「みつけもの」自主制作
プロデューサー・脚本・監督・編集

2011 地方の時代映像祭／市民・学生部門奨励賞受賞



2012年・高浜市民映画「タカハマ物語」脚本・監督
(約 2,000人の市民が参加)

2014年・西尾市民映画「オシニ」撮影
総合プロデューサー・脚本・監督
(約 1,500人の市民が参加)

2015 賢島映画祭敢闘賞受賞

・長久手市民映画「未来へのとびら」
総合プロデューサー／脚本監修



2015年・発達障がいのある人とプロの舞台人との共演を企画
(瑞穂文化小劇場上演の朗読劇)
ドキュメンタリー映画「ちがっていいよね？」自主制作
プロデューサー・監督・撮影・編集



2016年・西尾市市民映画「オシニンジャー X」
プロデューサー・脚本・監督・編集

2018年・西尾市民映画「オシニンジャー X エピソードゼロ」
プロデューサー・脚本・監督・編集
2023 世界水映画祭入賞



2019年・東浦町市民映画 脚本・監督・編集

2022年・西尾市民映画「月を見上げる」
プロデューサー・脚本・監督・編集
2022 賢島映画祭準グランプリ受賞
2022 パリ・シネマ映画祭入賞
2023 シャンバル国際映画祭特別賞

